

香川大学図書館 平成30年度・  
第23回 神原文庫資料展



展示期間：7/12(木)～26(木) 入場無料

開室時間：9:00～19:00 (土・日・祝休室)

会場：香川大学図書館 3階展示室 (香川県高松市幸町 1-1)

※駐車場はございません。ご来場には公共交通機関等をご利用ください。

主催：香川大学図書館 香川大学大学教育基盤センター

監修：香川大学教育学部 准教授 守田 逸人

関連講演「神原甚造コレクションの成立とその名品」

日時：7/19 (木) 18:00～

会場：OLIVE SQUARE 2階 多目的ホール (図書館隣り)

講師：香川大学教育学部 准教授 守田 逸人

# 展示にあたって

香川大学教育学部准教授 守田 逸人

神原甚造先生は、多度津に生まれ育ち、丸亀中学・第三高等学校を経て京都帝国大学卒業後、京都地裁判事となり大審院判事をも務めた。法曹界の最前線で活躍した後の昭和 25 年には、65 歳で本学初代学長に就任した。

ここで紹介する「神原文庫」とは、神原甚造先生自身が収集してきた膨大な数に上るコレクションである。コレクションの多くは、神原先生が昭和 29 年に他界されたのを機に本学に寄贈された。さらに、昭和 62 年にも追加で資料が寄贈された。

神原文庫の内容は、刊本書籍・公文書・古文書・絵画史料・古地図類・雑誌類など、じつに多岐にわたる。そして、その分野も人文科学・社会科学・自然科学から芸術に至るまで広い範囲にわたっている。

しかしながら、コレクションの大枠を見てみると、広い視野を持ちつつも神原先生の主要な関心が何処にあったのか、明らかになる。試みに『神原文庫分類目録』（風間書房、昭和 39 年）、および『神原文庫分類目録（続）』（香川大学附属図書館、平成 6 年）を紐解いてみると、人文系には計 300 頁もの頁数を要しているのに対し、その他の社会科学・自然科学（工学・工業・技術・産業を含む）は、すべてあわせても 100 頁に及ばない（雑誌類は除く）。神原先生は、とくに文字、和歌、文学、歴史を中心とした人文学に強い関心を持っていた。

ところで、明治～昭和初期にかけては、日本の文化財が大量に市中に流出していた。こうした文化財は海外へ流出したのも少なくはないが、おもに国内の旧財閥系に繋がる財界人や政治家、あるいは学者や思想家など知識人層等によって収集されていった。神原先生によるコレクションには、まさにこうした流れで収集されたものが多い。

本展示では、神原先生の人物像に迫りつつ、コレクションがどのように成立していったのかを示しながら、貴重なコレクションの一部を紹介したい。